

# Weekly Michael's News

<今週の聖句>

2016年10月31日発行 No.19

「はっきり言うておく。私の兄弟であるこの最も小さい者の一人にしたのは、私にしてくれた事なのである。」  
(新約聖書 マタイによる福音書 第25章 40節)

<秋は行事が目白押し!!「キリスト教と平和」をテーマに有意義な時が流れるKIUチャペル!!>

先週末は弓張さんの素晴らしいピアノコンサートが行われましたが、今週もKIUチャペルはイベントが盛りだくさん!! 「チャペル講座」と題して、京都大学院で文学研究科の教授を務めておられる芦名定道(あしな さだみち)先生をお招きし「キリスト教平和主義と現代世界」というテーマで講演を聞く事ができました!!

「右の頬を打たれたら左の頬を出せ」と教えるぐらい、戦争を放棄し互いの命を大切にすると平和を貫き通したイエス、またそこから始まったはずのキリスト教が、なぜ軍隊を編成し宣教の名の下に他国を侵略したのか…? また今日に於いても、有名なキリスト教国が他文化・他宗教を認めず、紛争と貧困の渦を世界中に広げているのはなぜか…?を、非常に分かりやすい表現と心に響くメッセージと共に語られました(時間もピッタリなのもお見事!!)。

先生の分析によると、誕生から迫害されてきたキリスト教がローマ帝国の中で国教と認められ政府の擁護を受けるようになる事で、正当な批判精神や自らの信仰による平和を表明できなくなり、最終的には政府の行動に宗教的な後ろ盾を与えて戦争の片棒を担いでしまう…というものでした。「ということは、この現代日本に於いて、権力や経済力に流されることなく健全な平和を作る鍵を、少数派であるキリスト教が担っているのです…」という芦名先生の言葉を聞いた時、私の心に「!!」マークの電気が走ったように感じました。また「信者が国民のたった1%しかいないはずの日本で、キリスト教学校がこんなにたくさんある事にも意味があるはずです。キリスト教学校は、もっと建学の精神に根差した個性を発揮すべきです!!」というコメントにも胸が熱くなりました!!!

今週末は、KIUチャペルのパイプオルガン「ルナ」の奉獻10周年を覚えて、オルガニストの伊藤純子先生がコンサートを開かれます!! 学びの秋に加えて芸術の秋!! 身近にある色々な機会を生かしてぜひ「成長の秋」にしていきたいですね!!



休日にも関わらず大勢の出席者が



心に響く芦名先生の講演



恩師への感謝を伝える近藤先生

## <先週のメッセージ>

※ここでは実際に話されたお話の要約を掲載しています

10月24日(月) 前田 次郎(理事長) テーマ:「小さな者への配慮を大切にせよ」

今、落語が静かなブームであると聞いて不思議に思った。理由を聞くと「現代社会にないものは得られるから」だそうだ。考えてみれば、落語の話の発端は失敗やトラブルばかり。落語が文化として花開いていた江戸時代は、笑いが全てを包み込んで人々の心を回復していたが、現代社会は小さな失敗でも許さない風潮が強い。そこで一枚の絵を紹介したい。ミレーの「落ち穂拾い」には、貧しいやもめが収穫後に残った麦を拾っているが、これは旧約聖書から生まれたメッセージだ。聖書に記されている隣人への愛や小さい存在に目を留める生き方を大切にしたい。

10月25日(火) 野間 光顕(チャプレン) テーマ:「ハロウィンって何やねん!?!」

ここ近年、日本でも10月下旬のハロウィンが定着した。元々ハロウィンは、殉教した人を覚える「聖人の日」(All Hallows day)が11月1日で、その前日を意味するイブ(eve)、つまりAll Hallows eveが訛って「ハロウィン」になったそうだ。それが欧州で逝去者を覚える日となり、そこに盛大な喜びの祭りであった収穫感謝が結びついた。季節が秋へと移り変わる時、落ち葉や秋風など命の終わりを感ずる物悲しさも漂うが、収穫の秋を通して私たちは、自分の命を繋ぐ大切な実りを受け取る事ができる。与えられた命に感謝しお互いの命を大切に歩みたい。

10月26日(水) 近藤 剛(経済学部) テーマ:「宇多田ヒカルとキリスト教」

宇多田ヒカルが8年振りに新しいアルバムを出した。聴いてみると詩を強く意識したものが多く、中でも「道」という曲の歌詞が心に残った。「私の心の中にあなたがいる。いつ如何なる時も一人で歩いたつもりの道でも 始まりはあなただった。It's a Lonely road. But I'm not alone.」亡くなった母を想って作られた歌だが、「孤独でも一人ではない」という所や「道」というキーワードにキリスト教的メッセージを見出す事ができる。有名な詩「あしあと」にも謳われているように、孤独を感じる時であっても、見えない主と共に歩いて下さる事を覚えたい。

10月27日(木) 森広 樹(リビ・リテ・ソノ学部2年) テーマ:「聖歌隊の活動を通して」

キリスト教概論で近藤先生のお話を聞いた私は、キリスト教に強い関心を持ち、聖歌隊に入った。クリスマス礼拝で初めて奉唱したが、満足に歌えなかった。その反省を生かして毎週の練習に取り組んでいる。新しいメンバーを迎えた今、更に活発になる聖歌隊が私にとって大切な場所になっている事を感じる。また聖歌隊を通して多くの出会いが与えられた。先生方や学生など、様々な人と同じ時間を共有できる事が嬉しい。更に高いレベルの合唱を目指して色々な曲に挑戦していきたい。



10月28日(金) 友枝 美樹(リビ・リテ・ソノ学部) テマ:「疲労と自律神経 ~散歩のススメ~」

日本は「疲労大国」と言われ、半年以上異常疲労が続く人の割合が4割近くいる。過労死という言葉は英語圏でもそのまま使われ、Oxford 英語辞典にも掲載されている。では疲労の原因は何か? 運動と身体状況の研究が様々な角度からなされているが、最近注目されているのが自律神経の存在だ。特に自然の中でゆっくりとした時間を過ごす事で副交感神経が活性化し、散歩をすると交感神経が活性化するそうだ。KIU で学ぶ学生も、この自然豊かなキャンパスを生かして欲しい。そしてもう一つ。イエスの残した「2つの愛」に記されているように、互いに愛し合う、大切にしよう生き方を通して豊かな人生を歩んで欲しい。(文責:野間 光顕)